

防災気象情報の伝え方の改善策と 推進すべき取組について

～「防災気象情報の伝え方に関する検討会」における検討結果～

令和2年度出水期の課題等について「防災気象情報の伝え方に関する検討会」における検討結果を踏まえ、防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組についてとりまとめました。

気象庁では水管理・国土保全局と協力して外部有識者で構成される「防災気象情報の伝え方に関する検討会」を開催し、これまでにとりまとめた「防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組」に沿って実施した事項についてフォローアップを実施するとともに、令和2年7月豪雨や令和2年台風第10号における対応の振り返りや避難情報の見直しを踏まえた課題について、改善策を検討してきました。

このたび、検討会での議論の結果を踏まえ、「防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組」についてとりまとめました。

気象庁は、河川や砂防等の関係部局と連携し、検討会で示された対応策について速やかに取組を進めて参ります。

なお、「防災気象情報の伝え方に関する検討会」は一定の役目を果たしたことからこのとりまとめをもって約3年間の活動を終了し、中長期的な視点で検討を進める新たな検討会を今年秋に立ち上げる予定です。

<問合せ先>

大気海洋部業務課 小寺・平原・松田

電話 03-6758-3900 (内線 4121・4119・4122) FAX 03-3434-9047

防災気象情報の伝え方に関する検討会

委員名簿

(有識者)

- 池内 幸司 東京大学大学院 工学系研究科 教授
東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 機構長
- 牛山 素行 静岡大学 防災総合センター 副センター長 教授
- 大野 宏之 一般社団法人 全国治水砂防協会 理事長
- 大原 美保 国立研究開発法人 土木研究所 主任研究員
- 片田 敏孝 東京大学大学院 情報学環 特任教授
- 国崎 信江 危機管理教育研究所 代表
- 関谷 直也 東京大学大学院 情報学環 准教授
- ◎田中 淳 東京大学大学院 情報学環 特任教授
- 谷原 和憲 一般社団法人 日本民間放送連盟 災害放送対策部会委員
(日本テレビ放送網 報道局 ニュースセンター 専任部長)
- 堤 浩一朗 ヤフー株式会社 メディア統括本部 Yahoo!天気・災害 企画リーダー
- 新野 宏 東京大学 大気海洋研究所 名誉教授
- 橋爪 尚泰 日本放送協会 報道局 災害・気象センター長
- 南 利幸 NPO 法人 気象キャスターネットワーク 代表

(関係省庁)

- 矢崎 剛吉 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当)
- 荒竹 宏之 消防庁 国民保護・防災部 防災課長

◎は座長、敬称略、有識者は五十音順

(事務局)

気象庁、国土交通省水管理・国土保全局、国土交通省砂防部